



2021年5月13日

各位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者  
窪田 良  
コード番号 4596 東証マザーズ  
問合せ先 執行役最高財務責任者  
前川 裕貴  
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

### 2021年12月期第1四半期決算補足資料

窪田製薬ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、以下「当社」）が、本日開示いたしました2021年12月期第1四半期決算短信の補足資料として、今期の動きをまとめてお知らせいたします。

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染の更なる拡大等により、依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、当社グループは、スターガルト病を対象とするエミクススタト塩酸塩の第3相臨床試験、遺伝子治療に関する前臨床研究等を継続して実施しております。

また、2020年12月に初期型のプロトタイプが完成した、近視の進行抑制・治療を目指すウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」は、順調に開発を推進しており、今期はメディアへの露出も多数ございました。

#### ◆新任取締役の選任

2021年4月23日開催の当社第6期定時株主総会において、社外取締役として、新たに津田真吾氏が選任されました。津田氏は、ベンチャー企業への投資及びその育成、ならびに医療機器分野の新規事業立ち上げ等において豊富な経験と知識を有しており、医薬品に加えて医療機器事業の育成に注力する当社の社外取締役兼専門家として、厳しく監視および指導いただくことを期待しています。

#### ◆Ophthalmology Innovation Summit (OIS) でクボタメガネを発表

Ophthalmology Innovation Summit (OIS) の Myopia Innovation Showcase において、「クボタメガネ」について発表いたしました。今回の OIS では、世界中の眼科領域に事業を展開する企業や投資家、研究者にプレゼンテーションをご覧いただきました。

当社の Ophthalmology Innovation Summit Myopia Innovation Showcase の発表は以下のリンクからご確認い

ただけます。

<https://ois.net/ois-myopia-innovation-showcase-kubota-vision-video/>

#### ◆メディア露出

ウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」について、複数メディアに取り上げていただきました。

- 日本テレビ「スッキリ」クボタメガネの紹介（1月28日）
  - 「夢のメガネ」として、クボタメガネを取り上げていただきました。スタジオコメンテーターの方にもクボタメガネを実際にご着用いただきました。
- KEIEISHA TERRACE：異能の経営者 ～ I know. ～（2月2日）
  - 全3回に渡り、窪田のインタビューを掲載いただきました。窪田が眼科領域にスポットを当てた理由やアメリカで起業するまでの経緯、新薬開発への過酷な道のり、窪田のポジティブな価値観が作られた過程など、幅広く掘り下げていただきました。
- 財界 ONLINE：近視の進行を抑制する「クボタメガネ」を開発 今後の展開について（2月3日）
  - クボタメガネの現在の開発状況、今後の展開について語っております。実際に窪田が「クボタメガネ」を装着している写真も掲載されています。
- 日経産業新聞：（ザ・チーム）窪田製薬HD 近視治療メガネを世界に（3月10日）
  - クボタメガネの開発について、開発チームのメンバーに焦点を当て、ご紹介いただきました。基礎研究、製品開発、承認取得という3つの関門を、3名のチームメンバーで乗り越えようとするストーリーをまとめていただきました。
- Review of Myopia Management：Can Augmented Reality Slow Myopia?（3月15日）
  - 1823年創立のマサチューセッツ・カレッジ・オブ・ファーマシー&ヘルスサイエンスのオプトメトリー学部の副学部長で、近視研究が専門であるバイチ教授による「クボタメガネに関する総説」が公開されました。
- 週刊プレイボーイ：かけるだけで近視が治る？「クボタメガネ」視力回復のカラクリ（3月27日）
  - 週刊プレイボーイ本誌、メディア「週プレNEWS」に掲載いただきました。近視のメカニズムやVR技術の活用について解説しております。

- 日本テレビ 博士は今日も嫉妬する：「世界初！かけるだけで近視の進行を抑えるメガネ」（4月11日）
  - 「明日が楽しくなる最新テクノロジー」として、クボタメガネが紹介されました。  
博士に扮した宮川大輔さんが、クボタメガネを装着してくださっています。
- 週刊ポスト：近視・老眼にサヨナラできる？ 実用化・開発中の高性能メガネ（4月14日）
  - 週刊ポスト本誌、メディア「NEWS ポストセブン」に掲載いただきました。  
近視のメカニズムやVR技術の活用について解説しております。

#### 窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社100%子会社のクボタビジョン・インク（米国）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。当社独自の視覚サイクルモジュレーション技術に基づく「エミクススタト塩酸塩」においては、糖尿病網膜症およびスターガルト病への適応を目指し研究を進めております。また、網膜色素変性における視機能再生を目指す遺伝子療法の開発や、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス（PBOS）、ウェアラブル近視デバイスの研究開発も手掛けております。

（ホームページアドレス：<http://www.kubotaholdings.co.jp>）

#### 免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。